

苦小牧市スポーツ施設整備計画（案）に寄せられた意見と市の考え方について（パブリックコメントの結果）

意見提出期間 令和3年2月15日 ～ 令和3年3月16日 （30日間）

意見提出人数 4人

提出意見件数（項目） 10件

提出意見と市の考え方・提出意見を考慮した結果とその理由 次のとおり

項目 No.	提出 人数	提出された意見 (意見提出区分 第三者利益による削除等の有無)	提出された意見に対する市の考え方 提出された意見を考慮した結果とその理由	反映区分
1	1	〔<u>原文</u>・整理要約 有・<u>無</u>〕 本計画の実施方法 P26～フォローアップの実施方針、推進・取組体制 ※「関係団体や関係機関、関係部署と連携を図り、意見を伺った上で～」 「利用者や競技団体、関係機関等との連携を図りながら～」と記載されている。特に総合体育館にあつては、利用者や関係団体も多く多岐にわたる要望も想定されることから、十分なスケジュールを確保した中で意見集約を行っていただきたい。	総合体育館は、多くの競技において利用される施設であることから、今後、建て替えの準備を進めるにあたっては、競技団体や利用者から十分な意見を伺ってまいりたいと考えております。	B

2	1	(原文・整理要約 有・無) 新しいスポーツ「フットサル」の位置づけ ※全体～フットサル競技は、冬場のサッカー練習から始まって、室内サッカー、サロンフットボール、5人制サッカーなどの変遷を経て、フットサルという競技が確立されたという新しいスポーツであると認識する。本計画が30年以上前に供用開始された施設にはフットサル競技が想定されていない施設や設備も多く見受けられる。 幅広い年代に少人数でも気軽に楽しむことができるフットサル競技の環境を整備していただきたい。	本市のフットサル競技の需要は高いものと認識しておりますので、既存の運動施設の利用を含めて、環境整備に努めてまいりたいと考えております。	C
3	1	(原文・整理要約 有・無) 施設不足の解消 ・P21～施設不足の解消 ※30年以上前に供用開始された施設にはフットサル競技が想定されていない施設や設備が多くあることは②で記載したとおりであり、フットサル人口に対して利用できる施設数は不足しており、環境の整備が求められる。		C
4	1	(原文・整理要約 有・無) 新しい施設の整備 ・P23～「新たな公共施設を建設する場合、既存施設を廃止～」 ※「新たな施設の建設」について記載されているが、反面、保有総量を抑制し段階的に縮減するとしている。本計画が施設整備計画であることから既存施設の評価のみに終わらせることなく、施設不足への解消に向けて「新たな施設建設」をも展望した計画にしていきたい。	本計画は、人口減少や市税収入等の減少が予想される中において、計画的に施設を整備し、安全で安心なスポーツ環境を提供していくことを目的としております。 現時点においては、新たな施設を建設する予定はありませんが、施設の集約化や複合化、廃止施設の用途変更なども含めて、対応してまいりたいと考え	C

			ております。	
5	1	(原文・整理要約 有・無) スポーツ施設の効果的な運営 ・個別評価シート～緑ヶ丘陸上競技場、緑ヶ丘公園サッカー場 ・中間見直し（案）～（施策 16） ※スポーツ推進計画の中間見直し（案）にも「緑ヶ丘公園内のスポーツ施設を一体管理等、効果的な施設運営に努める」とされている。緑ヶ丘陸上競技場の利用状況を把握してはいないが、利用を高めて効果的な運営をするためにも、トラック内側のフィールド天然芝でサッカーができるよう施設の改修を求めたい。このことにより一体管理等、効果的な施設運営が可能となる。	陸上競技場の利用状況は、週末の大会利用のみならず、学生から一般の方までの平日利用もいただいております。 現在の利用状況を考えますと、陸上競技とサッカー競技を同時に使用することは難しいものと考えていることから、他市の状況も参考にしながら、より効果的な施設運営に取り組んでまいりたいと考えております。	C
6	2	(原文・整理要約 有・無) 第3章 2 スポーツ施設の基本方針に関する評価 基本方針の概要の施設不足の解消について 現在、苫小牧剣道連盟は小学生から一般にかけての所属人数が約250名であり全道的にも見ても大規模な剣道連盟です。 スポーツ少年団登録の団体も9団体が登録してほぼ毎日のように各団体が稽古に励んでおります。 近年の当剣道連盟所属の選手が全道・全国大会などで結果を残し今後も活躍が期待されるところです。 しかし各団体も稽古場所の確保が困難で大変な思いをしていると聞きます。 全道規模で行われる大会や審査会・講習会など依頼されるも施設が不足しており、総合体育館などは年中週末は予約済みでなかなか予約の調整が	現時点においては、旧校舎体育館の有効活用や武道館建設の計画はありませんが、総合体育館を建て替える際には、これまでの練習室のほか、近年主流となっている、サブアリーナの設置を検討し、より多くの競技で使えるように整備していきたいと考えております。	C

		難しいのが現状です。 よって当連盟が使用しやすい施設（武道館）を望みます。 市内の旧校舎体育館を整備し使用することは有効活用の観点からも検討していただきたいと思います。是非ともご検討いただきたいと思います。		
7	3	(<u>原文</u>・整理要約 有・<u>無</u>) 第4章 個別施設計画の策定 当市における野球場は、緑ヶ丘・清水球場と少年野球場の3か所設置されております。うち、清水球場は民間所有施設のため維持管理に大きな制約があります。少子化により野球人口が減少する反面、硬式野球を行う企業が減りクラブチーム化され軟式野球で競技を続ける若者が増え、更に生涯スポーツとしてシニア・還暦・古希世代が行う環境が整い、当支部の加盟チーム数はここ数年横ばいの状況です。 そうした中で、指定管理者主催による令和3年度の野球場使用に係る野球団体の調整会議が初めて開催されました。（従来は、書面上での調整でした）近年、高校野球・大学野球が緑ヶ丘球場で行うことが常態化され、更には中学硬式野球も盛んに行われ球場不足が顕著となっており団体間の不満も蓄積してきております。社会変化で休日でしか競技ができない日程上の問題で、各団体が日程で輻輳しております。 そこで、第3の球場の新設を望みます。緑ヶ丘・清水球場のような施設までは望みません。グラウンドも土だけで芝生はいりません。管理棟があり、ダッグアウトがありトイレがあれば充分です。雨風がしのげれば競技に差し支えありません。不足があれば順次整備していけばよいと思います。 大会誘致においても全道・全国規模（20～30 チーム）の大会が開けま	様々な団体の利用により、緑ヶ丘公園野球場の稼働率が非常に高い状況となっていることは認識しております。 野球場の新設については、既存施設の老朽化対策や今後の人口減少問題などから、難しいものと考えておりますが、学校グラウンドの利活用なども含めて、調整してまいりたいと考えております。	C

		せん。現在 16 チーム(南北海道大会のみ)で 2 会場が限界です。 市外からの誘客につなげるためにも新設計画に位置付けをお願いしたい。		
8	4	(原文・整理要約 有・無) レッドイーグルス北海道の本拠地であること、総合体育館が近い将来使用できなくなる可能性等を踏まえ、白鳥アリーナにアリーナ施設 (or サブアリーナ) の整備、トレーニング施設の増強、駐車場の拡充を検討していただけたらと思います。	白鳥アリーナの新たな環境整備は、現時点で計画しておりませんが、既存施設又は敷地内での効果的な活用について、引き続き検討してまいりたいと考えております。	C
9	4	(原文・整理要約 有・無) 市民が定期的に体力測定、体力テストを行える施設が欲しい。 (既にあれば、認識不足で申し訳ありません)	川沿公園体育館の健康運動相談室では、「体力測定」のほか、運動に関する総合的なアドバイスを行っておりますが、今後、多くの方に認識してもらえるように、更なる周知に努めてまいります。	B

10	4	(原文・整理要約 有・無) 施設不足の解消 長期的な視野（人口減、経済性、東西に長い苫小牧の特徴等）で考えると、今後は苫小牧市内の代替施設（学校開放等）の積極的な活用が求められるのかなと思います。	安全で安心なスポーツ環境を提供していくため、施設の集約化や複合化、廃止施設の用途変更なども含め、代替施設の活用を進めてまいります。	B
----	---	---	--	---

反映区分	提出された意見の反映状況
A	意見を受けて案を修正したもの
B	案と意見との趣旨が同様と考えられるもの
C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
D	案に取り入れなかったもの
E	案の内容についての質問等

「原文」とは、提出者の氏名、連絡先等を除いた提出された意見そのものであり、整理、要約、削除等をしていないものをいいます。担当課において、原文の備付けや閲覧による対応が必要となります。「整理要約」とは、提出者の氏名、連絡先等を除いた提出された意見を整理、要約、削除等をしたものをいいます。

なお、「原文」・「整理要約」のいずれの場合であっても、第三者の利益を害するおそれがあるとき（個人のプライバシーに係る事項、企業秘密等）や、その他正当な理由があるとき（提出意見を公にすることにより公益上の支障があるとき等）は、その部分について除くことができます。